



平成29年6月13日

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

## 日本原子力研究開発機構から受け入れた被ばく作業員の退院について（お知らせ）

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構(理事長：平野俊夫 以下、量研)は、放射線医学総合研究所（以下、放医研）において、日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター燃料研究棟で被ばくされた作業員5名を、患者さんとして平成29年6月7日に受け入れ、緊急被ばく医療施設などで診察と治療を行ってきました。

このたび、当初予定していた治療の処置が終了し、患者さんの容態に特段の変化がないこと、また検査結果など総合的に勘案して退院可能な状態であると判断され、患者さん、およびご家族に診察と検査結果を説明いたしました。

本日（6月13日）までに、全員の患者さんが退院の意思を示され、本日5名の患者さん全員が量研放医研から退院されましたので、お知らせします。

なお、今後も継続して検査や測定を実施し、退院された患者さんには、外来での診察と検査結果の説明を行うことにしています。また線量評価の結果、必要と判断された場合は、治療を行うことにしています。

— 以上 —